

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料1-2】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④ 令和7年度に取り組んだ内容
犬山市での子育てと女性の活躍を応援します	子育てと女性の活躍応援事業の情報発信	子育て支援課	子育て応援情報サイト（ポンテ）で発信する情報の充実を図り、女性活躍応援拠点（さんにいれ）での情報発信を実施した。
	病児保育事業実施	子ども未来課	・市の委託事業として、総合犬山中央病院において病児保育事業を実施した。
	多子世帯支援策の強化	産業課 都市計画課 子育て支援課 健康推進課 学校教育課 防災交通課 子ども未来課 スポーツ交流課 子ども未来課	・犬山産米配布（対象世帯に10k g） ・ファミリーサポートセンターを利用した付添支援（4か月・1歳6か月・3歳児健康診査受診時）【実績：0件】 ・育児用品宅配事業（1歳未満の多子世帯へ紙おむつを1歳の誕生日まで自宅に宅配）【実績：103世帯、宅配件数：延332件】 ・定住促進サポート事業における補助額の加算(20万円)【実施：2件】、効果が低かったため要綱期限をもって廃止とした。 ・児童クラブ利用手数料の無料化 ・家事援助等ヘルパー派遣事業 ・第3子以降の児童生徒・園児の給食費無料化 ・アレルギーなどにより給食を食べられない子どもへの給食費相当額の補助金支給 ・保育料の無料化（3歳未満児対象） ・いぬやまランニングフェスティバル参加費無料化【実績：139名】 ・わん丸君バスの無料乗車券の配布【配布：767世帯2,878人 利用実績：2,019人】
	産後ケア事業の利用促進	健康推進課	・特定の医療機関に宿泊や通所する「宿泊型」と「通所型」、助産師が自宅へ訪問する「訪問型」により相談や支援を実施。（実績： 宿泊型24件、通所型7件、訪問型25件。） ・ユニバーサルに利用できる事業として利用勧奨を推進。
	屋内型キッズスペースの整備・運営	子育て支援課	・公募型プロポーザル(ＤＢＯ方式での発注)により選定した設計・施工事業者と工事請負契約を締結し、屋内型キッズスペース（犬山市子ども屋内遊戯施設）の設計及び工事を実施。 ・施設の運営については、上記公募により選定した運営事業者を令和8年度から令和12年度（5年間）の指定管理者に指定。
	給食無償化の拡充	学校教育課 子ども未来課	・第3子以降の児童生徒・園児の給食費無料化や小学校1，6年生、中学校3年生の給食費無料化に加え、小学2年生の無料化を新たに実施し子育て世帯への経済的負担軽減の拡充を実施。
子育て支援施設を計画的に整備します	子ども未来園施設の整備	子ども未来課	・令和7年4月に橋爪・五郎丸子ども未来園の統合園「橋五子ども未来園（公設公営）」を開園し、2期工事として、補助金を活用した園庭の芝生化を実施。 ・令和8年4月開園予定の羽黒・羽黒北子ども未来園の統合園「にじいろ保育園羽黒（民設民営）」の施設整備に対し、事業者へ当該整備に係る補助金を交付。 ・ニーズに合わせた保育環境提供のため、城東第二・羽黒南子ども未来園の未満児室改修工事を実施。
	子育て支援センターの整備・運営	子育て支援課	・子育てに関する講座等の実施や触れ合いの場の提供等により、子育て親子の交流や子育て支援を実施。 ・令和8年4月に開設する子育て支援センターみらい（民設民営）の整備に対し、補助金を交付し支援。
あらたな商業立地を積極的にすすめます	幹線道路への商業施設誘致	産業課	・宿泊施設1店舗が営業開始。 ・小売店1店舗、飲食店1店舗、医療施設1店舗、社会福祉施設1店舗が農振除外、農地転用許可済み。 ・R8年度開業予定が4店舗。
	産業集積誘導エリアへの企業誘致	産業課	・当該集積エリアの周知PRを図り、複数の進出希望企業との間で随時面談や打ち合わせを実施し、開発の実施可能性を協議、調整をしながら立地実現の可能性を高めるための検討、指示、調整など立地開発に関係する手続き等のワンストップ窓口を統括。
住環境（インフラなど）を整えます	重要な幹線道路の整備(蟬屋長塚線など)	整備課	都市計画道路蟬屋長塚線の予備設計を実施するとともに、用地測量及び物件調査に着手。
	安全で快適に生活できるよう道路・橋梁等の修繕や街路灯・防犯灯や防犯カメラを設置・修繕	土木管理課	・地元要望に基づき、道路舗装・側溝・安全施設の補修や街路灯の設置・修繕等を実施。 ・施設の劣化が広範囲に及び路線については、改修計画を立て計画的に取り組んでおり、令和7年度は市道犬山公園小牧線、市道犬山162号線等の舗装改修工事、市道羽黒西93号線等2路線の道路側溝改修工事を実施し、街路灯については市内24箇所です新たに街路灯を設置。
	公共交通ネットワークの連携（交通弱者への対応）	防災交通課	・利用者が安全に安心して移動できるよう運行事業者と連携し、わん丸君バスを運行。 ・わん丸君バスの利便性向上のため、次回再編のダイヤやルート案などを検討を実施。 ・公共ライドシェアの運行を検証し、令和8年4月以降の運行継続を決定。 ・公共ライドシェア車両（マルモビ）購入にあたり、日中も車両を活用するため、新たな地区での公共ライドシェアの実施を検討。
	宅地開発による道路整備の一部を補助	都市計画課	・立地適正化計画の策定による居住誘導区域が設定されたことから、補助要件について見直しを実施したが、実績がなかったため要綱の期限をもって廃止とした。 （令和8年度から居住誘導に係る定住促進奨励金を新たに導入）
	公共下水道の整備	下水道課	・五条川右岸処理区の犬山西古券地区(4.2ha)の整備を実施。 ・五条川右岸処理区の犬山西古券地区(9.95ha)の供用開始。 ・五条川左岸処理区の前原台団地地区の整備を実施。
	公園の整備・利活用	整備課	・地区計画区域内の公園整備を進め、良好な住環境を形成するため、橋爪・五郎丸子ども未来園跡地の公園整備に向けた実施設計を実施。
	五郎丸地区の新たなまちづくりの推進	都市計画課	・地権者に向けた勉強会、まちづくり準備委員会の開催により事業への機運醸成に務めた結果、令和7年度に実施した地権者への意向確認では、85%の方から詳細な事業検討を進めて行くことへの賛同を得られ、発起人会も発足。
空き家の活用をすすめます	空き家情報提供（空き家バンク）による情報発信	都市計画課	空き家所有者に対して継続して空き家バンクへの掲載を周知。（令和7年度中の新規掲載件数：4件、掲載取下：4件）
	空き家の利活用の促進	都市計画課	・空き家活用に関する補助制度を刷新し、「あきや活用支援事業補助金」制度を実施。（実績：1件、120万円） ・空き家活用に関するセミナー及び相談会を実施。
	宅地開発による道路整備の一部を補助	土木管理課	・市内で宅地開発を行った際に、承認工事費用の一部補助を実施。令和7年度は1件補助を実施。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料1-2】

基本目標 気持ちいい住環境 ”暮らしたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④ 令和7年度に取り組んだ内容
帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で	UIターンへの支援	都市計画課	・ふるさと定住促進サポート事業補助金（同居：7件4,200,000円、近居：17件3,400,000円、多子世帯20万円加算：2件400,000円（同居1件、近居1件））、働きて定住促進サポート事業補助金（3件600,000円）の実施。
	創業支援の実施	産業課	・市内での新規創業を支援。創業支援補助金による補助を実施。（補助件数6件 5,808,000円）
「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します	優良田園住宅制度の活用	都市計画課	・令和元年度から運用を開始し、令和7年度に計画認定を2件行い、認定に基づき建築を許可。 ・活用促進を図るため、土地の区域要件の緩和を検討・愛知県と協議を実施し、令和7年4月より施行した。
	水辺を活かしたまちづくりプロジェクト	企画広報課 観光課	・ミラマチ栗栖が実施している木曽川沿いの竹林整備や地区の魅力を伝えるイベント（収穫体験祭等）の企画運営に参画。 ・「犬山市かわまちづくり計画」を策定し、令和7年8月に国土交通省に登録された。「INUYAMA YOI NO MICH」ではメイン会場となる善師野伏屋の他にもサテライト会場として竹あかりアートを木曽川河畔遊歩道へ全長約200mにわたって設置した。 ・本市が所有する屋形船（若あゆ丸）を活用し、令和8年3月に「木曽川うたかた亭」を2日間開催。
環境先進都市いぬやまを目指します	環境基本計画の推進	環境課	・計画進行管理を継続実施。 ・計画期間の概ね中間にあたる令和7年度に中間評価を実施。中間評価の結果を踏まえ、令和8年度に改訂を行う。 ・年次計画の推進により得られた結果を「犬山市環境白書」として作成・公表。 ・市民主体で展開する重点プログラムの着手を目指し、いぬやま環境サポーターを募集し、新たに3団体を登録。
	省エネ・創エネ・畜エネの推進	環境課	・個人・家庭での省エネ推進のため、住宅用地球温暖化対策設備導入（蓄電池、燃料電池システム等）、既存住宅省エネ改修（高効率給湯機設置）、次世代自動車（電気・燃料電池自動車）購入への補助制度を実施。
	広域ごみ処理施設の整備	環境課	令和10年度供用開始を目指し、尾張北部環境組合と連携して整備事業を実施。
誰もがいきいきと暮らせるまちをつくります	子育てと女性の活躍応援事業の実施と情報発信	子育て支援課ほか	子育て応援情報サイト（ポンテ）で発信する情報の充実を図り、女性活躍応援拠点（さんにいれ）での情報発信を実施した。
	介護予防事業の推進	高齢者支援課	・フレイル予防の推進及びフレイル予防スクールの中で体力チェック、保健師によるミニ健康講話等を実施し、その効果検証を実施。 ・令和7年度は、子どもから高齢者までの様々な世代を対象とした介護予防イベントを実施。
	多文化共生の推進	多様性社会推進課	・外国人市民の社会参画の後押しをするとともに、外国人市民が集まり情報共有を行う場となる外国人市民車座トーク、多文化交流マルシェ、多文化交流スポーツイベントを実施。 ・多言語情報誌を7言語（ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、タガログ語、ベトナム語やさしい日本語）で作成、外国人市民世帯に直送。 ・外国人相談窓口を開設。 ・コミュニティ通訳者派遣、育成制度を実施。 ・窓口通訳（ポルトガル語・スペイン語）及び電話通訳（32言語対応）を実施。 ・行政書類翻訳を実施。 ・就学前、学齢期に合わせた日本語教育、親子向けプレスクールの開催。 ・大人向け日本語教室の開催。
	健康市民づくりの推進	健康推進課	・産業振興祭での健康チェックコーナーの実施や、保健師・栄養士が市内スーパー・企業に出向き、気軽に健康チェックや相談ができる機会を提供。 ・市民ボランティアと協働で運動講座や栄養教室など食育に関する事業を実施。
	包括的な相談支援体制の構築（重層的支援体制整備）	福祉課 障害者支援課 高齢者支援課 健康推進課 子育て支援課	・重層的支援体制整備事業における包括的相談支援事業を強化するため、支援者向け研修会を実施。
	手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進	障害者支援課	・手話言語・障害者コミュニケーション手段の普及・啓発。手話言語の普及と障害特性に応じたコミュニケーションの利用促進を図るため、手話サポーターによる未就学児の手話体験の実施や声掛けサポート講座を実施。
地域の集いの場づくりを応援します	地域の集いの場づくりの支援	高齢者支援課	・各地区の生活支援コーディネーターとの連携。 ・第1層生活支援コーディネーターを中心としたサロンの世話人交流会や第2層協議体の交流会を開催し、地域間での情報交換を実施。
安全・安心に暮らせるまちをつくります	通学路安全（路側帯のカラー舗装など）対策整備	土木管理課 学校教育課	・「犬山市通学路交通安全プログラム」に基づき、プログラムに位置付けられたグリーンベルトやカラー舗装等の整備が計画的に進むよう調整し、整備を実施。（整備実績：市道桑田東141号線等8箇所） ・通学路安全対策連絡協議会で協議し、学校からの要望に対して対策を行った。
	家庭や地域での防犯・防災対策支援	防災交通課	・家庭の防犯対策や地域での見守りを強化するため、防犯対策費補助金及び防犯カメラ設置費補助事業を継続実施。 ・防災対策の強化のため、感震ブレーカー設置費補助金及び家具等転倒防止器具取付事業を継続実施。
	災害対策、非常時の体制構築と環境整備	防災交通課	所要の修正を加えた上で、地域防災計画に組織体制や分掌事務を定め、迅速な災害対応の体制を整備。
市民サービスをもっと簡単に分かりやすく	ICTの活用（手続きのオンライン化、キャッシュレス化）	情報政策課 収納課ほか	令和6年度に一元化した電子申請システムの広報による周知活動と、定額減税補足給付金の申請手続きをオンラインでできるよう利用者の利便性向上を図った。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料1-2】

基本目標 居場所と出番 ”活躍したいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④ 令和7年度に取り組んだ内容
犬山らしい教育を進めます	読解力向上推進	学校教育課	・「犬山読解力テスト」の内容解説シートを作成し、学校が結果を分析したり、指導を改善したりするための資料として活用した。 ・「読解力アンケート」の内容を更新した。市内小中学校の児童生徒に実施し、読解に関する意識や読書の状況を把握し、学校に還元を行った。 ・読解力の授業に関する各校の実践を共有できるアプリケーションを導入した。
	学校施設の計画的な整備・改修	学校教育課	・長寿命化計画に基づき、犬山南小学校長寿命化改良工事、城東中学校改築工事等基本設計業務を実施した。 ・防災機能の向上のための羽黒小学校非構造部材改修工事や老朽化したエアコンの更新工事を実施した。
がんばる企業と新たな起業を応援します	市内企業の事業継続・承継の支援	産業課	・継続して事業者に対する資金繰りの支援を実施。産業の振興及び事業継続を図るため、事業継続支援補助金や産業振興補助金の各種支援を行い、市内産業の活性化を実施。 ・市内事業者の人的リソース不足解消を目的とした各種施策を検討し、DXセミナーのWEB開催に着手、事業所見学会の先進地視察を実施。
	企業のマーケティング戦略の強化支援	産業課	・事業継続支援補助金制度の運用により中小企業者15件に対して事業継続のための経営計画策定を支援し、11件に対して経営計画実現に資する補助金を交付。
	就業希望者への知識習得と事業計画づくり、設備投資への支援	産業課	・経営課題の整理、専門家の選定、計画づくりまで中小企業診断士による伴走支援を実施。
新たな地域ブランド開発を応援します	新商品・新メニューの開発の支援	産業課	・事業継続支援補助金制度の活用により市内事業者に対して事業継続に必要な新たな特産品の開発を支援を継続。
	農作物等ブランディング化の推進	産業課	・農産物等ブランディング推進補助金により、特産農産物である桃の生産拡大や6次産業化としてブルーベリーの加工商品開発を支援した。 ・犬山産農産物PRシールを希望者に配付。（約4万枚）
「しごとの場」を増やします	産業集積誘導エリアへの企業誘致	産業課	・令和7年度に操業開始した企業は1件。 ・製造業2社が令和8年度に創業をする予定。
	市内企業の再投資を支援	産業課	・交付は0件。 ・令和6,7年度に各1件ずつ認定決定を行っており、この2件について、令和8年度以降に交付予定。
農業でがんばる人を応援します	農業の担い手の確保と育成	産業課	新たな農業の担い手の確保を図るため、新規就農支援補助金により農業を開始する者4名に対し、必要な農業用機械等の導入経費を支援。
地域資源をまちづくりに活かします	シェアによるまちづくりの普及と地域課題の解決	企画広報課	・シェアリングエコノミーの取組みを進める民間団体等と連携し、地域課題（駐車場不足）の解決を図り、駐車場シェアにおける市ホームページでの周知。 ・犬山総合高校との連携・協力に関する包括協定に基づき、1年生の探究学習のテーマとして選定し授業を実施。
	地域資源の見える化と活用促進	全課	・犬山市民の主体的な社会活動を促進するため、市内の資源（人、もの、場所など）を共同で利用できるように登録、有効活用する犬山市地域資源バンクを実施。 ・人とつながり、まちを元気にするため、暮らしの中で住民との関係を構築し、身近な存在として『毎日の嬉しいや楽しい』を一緒につくるコミュニティナースを設置。 ・相続などで住まない・使わない建物を所有した方々と犬山で住むため・使うために建物を探している方々を結ぶ場所として空き家バンクを実施。 ・犬山市が市民の生涯学習を支援するために優れた知識や技能を持つ市民を「犬山市民講師」として登録し、学びを求める市内の団体やグループへ講師として派遣。 ・個人の「資産」（モノ、建物など）や「能力」（スキル、知識など）を、インターネット上の仲介事業者を介し、必要とする人に貸し出すことで有効に活用するシェアリングエコノミーを推進。 ・犬山駅東西連絡橋の未活用箇所（天井、窓、階段等）において、事業広告を募集。空間の利活用を実施。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【資料1-2】

基本目標 居場所と出番 ”活躍したいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④ 令和7年度に取り組んだ内容
文化・スポーツで活躍・交流できるまちにします	社会教育施設の修繕・改修	文化推進課 スポーツ交流課	・利用促進を図るため、市民からの要望の多い鏡を塔野地公民館2階集会室の北側壁面に設置した。
	文化創造の機運を高める事業の推進	文化推進課	・自主事業を本格的に再開し、市民が文化芸術に触れる場として利活用を推進。 ・グランドピアノを常設した防音室である練習室2の個別貸出を実施し、文化会館の有効利活用を促進。
	スポーツコミッションなどでのまちの活性化	スポーツ交流課	いぬやまスポーツコミッション事業では、新規会員の加入促進に取り組み、新たに4団体が加入、会員総数が27団体に拡大した。これにより、多様な団体との連携による事業推進体制が強化できた。 また、各種補助事業（コミッション補助10件、プロスポーツ団体支援1件、合宿等誘致補助1件）を実施し、市外からの大会参加者や合宿団体を誘致し、交流人口の増加を図るとともに、来訪者と市民の交流機会を創出した。結果として、市内における消費活動を促し、地域経済の活性化に貢献した。
	部活動の地域への移行・地域での展開	学校教育課	・～2025年7月：第2・第4土日の休日合同クラブを継続。 ・2025年9月～2026年7月（第Ⅱ期）：全ての休日の活動を「休日合同クラブ」、「休日合同バンド」または「地域クラブ」とする。
犬山の活性化につながる連携をすすめます	連携事業の継続と充実	全課	・令和8年1月23日に東洋紡株式会社犬山工場と「災害時における指定緊急避難場所としての使用に関する協定」を締結。災害時に東洋紡株式会社犬山工場の施設を指定緊急避難場所として利用。 ・令和8年2月20日に株式会社クリエイト・プロと「災害時における支援に関する協定」を締結。小牧市内に所有する駐車場の提供、電気自動車用充電スタンドの無償使用、トイレカーの無償貸与など。 ・令和8年2月24日に日本郵便株式会社との「包括連携に関する協定 ～住むまち いぬやま推進協定～」締結。内容は市政の情報発信に関すること、犬山市のPR及び魅力発信に関すること、安心・安全な暮らしの実現に関すること、文化・スポーツの振興に関すること等。協定締結日から、犬山市公用車及び郵便局車両に住むまちいぬやまのロゴ入りマグネットを貼付し、犬山市のPRを実施。 ・平成19年12月21日に締結した「犬山市、犬山商工会議所及び名古屋経済大学の連携交流に関する協定書」に基づき、犬山観光学生大使事業、インターンシップ事業、いぬやまランニングフェスティバル等への協力など産官学連携の継続的な取り組みを実施。
みんなで地域力UP！にチャレンジします	地域の課題解決の支援	地域協働課	「地域の課題解決支援事業」として実施した事業はなし。
市民が主役のまちづくりをすすめます	協働プラザの整備・運営	地域協働課	・委託事業者のプロポーザル時の提案事項に基づき、協働プラザを運営し、相談・助言業務、地域資源バンクの運用及びシェアリングエコノミーによる活用、地域の担い手育成事業等を実施。
	市民活動支援施策の推進	地域協働課	5団体に市民活動助成金を交付。（交付額：991,000円）
	市民活動団体が自立するための団体経営に関する支援の強化	地域協働課	協働プラザにて担い手育成事業に関する講座を開催。（開催回数3回、参加者数延べ43名）
	”活躍の場”づくり（フューチャーセッション）の実施	地域協働課	全5回開催、延べ97名が参加。
	地域資源バンクの活用	地域協働課	・地域資源を37件登録し、30件のマッチングを実施。 ・地域資源バンクの運用、シェアリングエコノミーによる活用。
	地域の担い手育成	地域協働課	・協働プラザ運営業務における「地域の担い手育成事業」としてコミュニティナースベーシック講座を開催（15名受講）。 ・コミュニティナースベーシック講座受講者（コミュニティナース 計47名）を対象にフォローアップやそれぞれの活動の連携協力体制の構築を目的にした交流会を開催。 ・コミュニティナースに対して地域資源バンクへの登録を勧め、市民からのニーズ等に応える体制を整備。

基本目標 人の交流 ”訪れたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 担当課	④ 令和7年度に取り組んだ内容
シティプロモーションを積極展開します	市ホームページやSNSなどによる効果的な情報発信	企画広報課	・「住むまちいぬやま」応援グッズ掲載ページを作成し、応援グッズを掲載。 ・令和6年3月に更新を行った「これからいぬやま」冊子電子データを住むまちいぬやまウェブサイトへ掲載。
	シティプロモーションの強化・充実	企画広報課	・新たなシティプロモーショングッズとしていぬやまガチャ第2弾、第3弾を作成し販売。 ・「住むまちいぬやま」の取組みの認知度を高め、犬山市の「住むまち」のイメージの向上を促進し、活動を後押ししてくれる「住むまちいぬやま応援グッズ」の募集を開始。 ・犬山市の住むまちとしての魅力発信のため「長久手市 愛・地球博記念公園」「名古屋市 栄地下街」「東京都 国際フォーラム」「豊田市 名古屋スタジアム」にてブース出展を実施。 ・シティプロモーショングッズとして付箋を作成。
戦略ある“観光まちづくり”をすすめます	観光戦略の推進	観光課	・犬山市観光戦略を基に、8つの重点プロジェクトをはじめとする施策を順次実施。 ・犬山市観光戦略会議を開催し、委員からの意見・提案を受け、PDCAサイクルの中で業務の見直しや検証を実施。
木曽川河川空間を活性化します	木曽川河畔の整備	企画広報課 観光課	・ミラマチ栗栖（※）の活動に参加し、企画や実施などの支援を実施。 （※）栗栖地区の住民と栗栖が好きな人が集まって、栗栖地区の発展やまちづくりのために様々な活動をしている市民活動団体。 ・「犬山市かわまちづくり計画」を策定し、令和7年8月に国土交通省に登録された。 ・栗栖園地南側の活用のため、愛知県の補助金を活用して令和4年度から継続して地元住民等と延べ52名との協働により約1,200㎡の芝貼りを実施。
	飲食・物販やイベントなどを通じたにぎわいと地域活力の創造	観光課	・8月1日～10日の日本ライン夏まつりロングラン花火の開催に向けて市内企業を中心に協賛金の協力を呼びかけ、304万円の協賛金を得た。 ・犬山朝市協同組合等の関係者と連携し「宵のいぬやMARCHE」を実施。全30店舗と出店の調整をしたほか、内田地区の住民等と協働し、「宵のカタリーヴァ」として子ども向け体験ブースを設置。
文化財を保存し、魅力を創出・発信します	歴史資料等の収集・編纂	歴史まちづくり課	・平成時代の約30年間を中心に犬山市に関する資料をまとめた『犬山市史 資料編 平成』の販売を開始。 ・『犬山市史平成編』の通史編の刊行に向けて目次構成を検討し、原稿を執筆。
	犬山歴史文化ぱらっとフォームの取組み	歴史まちづくり課	・犬山歴史文化ぱらっとフォームの活動として、「街道と水運」をテーマに、市内の団体の活動報告会を1回実施。実際に現地を歩く「街道ウォーキング」を1回実施。 ・令和6年度の犬山歴史文化ぱらっとフォームで実施した看板デザインワークショップの成果をもとに、文化財看板1基を新たに設置。
	犬山城大手門枳形跡（犬山市福祉会館跡地）整備	歴史まちづくり課	・犬山城調査整備委員会、犬山城管理委員会及び文化庁と協議を重ね、周辺住民、市民への説明を行いながら、史跡犬山城跡（大手門枳形跡）整備基本設計と便益施設基本設計を行った。